2 テーマ図(統計地図)を利用した授業展開例

	2 テーマ図(統計地図)を利用した指	
教科(科目) 世界史		出とアジア - (1時間目 / 5時)
本時の主題 ヨーロッパの世界進出の概観		
1 地理的な情報と手法(統計資料と統計分布図)を用いて、世界の成り立ちや文化についての課題を解決し 本 時 の		
指導のねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価
資料から特定の情 報を読み取る。	Question 1 世界の国々の成り立ちや文化を知ろう。 班ごとにテーマを設定	全ての国を自分で探すことを通し て知らない国の多さに驚かせると 注 をもに情報の読みとりに興味を持たせる。
5分	A 班 近現代の歴史の中で日本や欧米列強等の植民地となった歴史を持つ国について、を植民地となったことがあるかを理解する。 B 班	評価方法授業後プリントを提出させる。
情報の形を変える ことで違った情報 を導き出す。	以上長期休暇の宿題 Question 2	注 Ź 数字のデータをビジュアルデータ に置き換える手法と意味を理解さ せる。
10分	班ごとにテーマを設定	
得られた情報の意味を考え、なんらかの答えを導き出す。	Question 3作成した表と地図から解ることを考え、班単位で意見を出し合い、統一意見を導き出す。予想される答えA 班 ヨーロッパの国が世界の多くの国を植民地にしていたことがよくわかる。B 班 時代(世紀)によって植民地化される地域がちがう。 発展: それは何故か。C 班 アジア・アフリカは20世紀に独立した国が	統計地図から分かることと、授業 注3 や生活の中で知り得たことを考え あわせて答えを出す。
	多い南米は19世紀が多い。 発展:それは何故か。 D 班 世界3大宗教と呼ばれている宗教が世界の大	

部分で信仰されている

発展:それは何故か。

班 英語圏・スペイン語圏・フランス語圏が多

発展:それは何故か。 ١١,

班

南北問題がわかる。 発展:それは何故か。

35分

|教||6つの調査結果から出た各班の結果を板書する

Question 4

各調査で得られた結果すべてを総合的に考察し、 のようなことが言えるのか、各班で討論してみよう。 発表しよう。

45分 A ~ F 全ての情報 を体系的に結びつ け現代世界の構造 を考える。

導き出したい事柄

- ・15世紀以降世界各地は、ヨーロッパの世界進出によって政治的・経済的・文化的に強く影響を受けている。植民地だった地域にはヨーロッパの言語・宗 教・社会体制が持ち込まれ、経済的には搾取により 停滞した。19・20世紀に独立を果たしたが今な
- 停滞した。 19・20世紀に独立を来たしたが学なおその影響下から脱しきれていない。 貧富の差は先進国と発展途上国という見方だけではなく、先進キリスト教信仰圏とイスラム教信仰圏の経済格差、あるいは、ヨーロッパ発の民主主義国とイスラム世界との経済格差、などという見方もでき
- ・ヨーロッパの世界進出の歴史が、現在の国際問題の 要因になっている。

など

50分

||教| 生徒の意見と教師側の意図を融合させてまとめる

評価方法

正解・不正解にはこだわらず自信 を持って発表できるように指導す

【技】

注4

今回調査し考察して得られた結果 と近現代世界史および国際社会の 構造とを結びつけてまとめる。

世界史では、「生きた教材」や「身近な教材」を取り扱うのは、日本史ほどは容易ではない。導入方法として身 近な道具や物を使用することも可能であるが、ここでは、「生きた教材」や「身近な教材」を使用し、できるだけ 体系的に歴史や世界をとらえさる授業の実現を意図した。

2002年に起こった「同時多発テロ」やその後の「国際紛争」を生徒たちはマスメディアを通して関心をもって見 ていると考えられるので、これを「生きた教材」や「身近な教材」に相当する「身近な話題」として取り上げたい。 また、それらの出来事をその背景などとあわせて細かく調べ考察することもできるが、ここではあくまでも概観さ せることによって現代世界の構造を見いだしたい。

現在の世界の形成は15世紀から始まったヨーロッパの世界進出(支配)によって開始された。そのことを生徒 たちには6つの角度から導き出し、その歴史(ヨーロッパの植民地支配及び現代世界における欧米の強い影響力) によって生じている問題に気付かせたい。

また、この実践はコンピュータを活用できると思われる。 の細かいデータ入力はもちろん、そこからの地図へ のデータの変換もコンピュータを利用できたらよいと思われ、教師側がまとめるのにも大変便利で機能的だと考え る。今後の課題にしたい。(例:Excelを使った情報整理、Power Pointを使った発表など)

- <指導上のポイントと考察、生徒の様子、補足>
 注1 生徒がまだ何をやっているのか認識できていないかもしれないので、この段階では自分の知らない国がこんなにもあることを認識させ、世界の大きさや複雑さを実感させたい。また、国の数が190カ国あるので、生徒がいやにならないようにグループの中で作業分担をさせる。実際授業中には無理なので連休や長期休業の際の宿題にして置いた方がよい。今回は、冬休みの宿題とした。
 生徒が使用した資料は、『現代用語の基礎知識』『知恵蔵』『imidas』や地図帳である。
- 数字のデータをテーマ図(主題図)化して答えを導き出しやすくしたい。ただ、テーマ図といっても地理の授業ではなくその知識はないので、数字によるデータを地図上に置き換えることで読み取りやすくした。情報を見やすく変化させることで多くの現象をとらえることができる。生徒たちはこの過程をすごく楽しんで取り組み、作 業途中の段階で気付いたことを口にしていた。 生徒が作製した地図は【資料1】
- 作成した地図から読みとれる事柄をまとめたら、歴史の中でそのことがどんな意味を持っているのか、或いは何故そのような事実が起こったのかを歴史の中にその理由を見つける。生徒たちは、意外と興味を持ち考え、興味深い答えを導き出した。 生徒が地図を読みとり更にそれを考察した結果は【資料 2 】
- 注4 実際に生徒は様々な意見を出した。見当違いのものもあったが、興味深いものもあった。

一体化する世界 ヨーロッパの進出とアジア

- 1.ヨーロッパの世界進出と概観

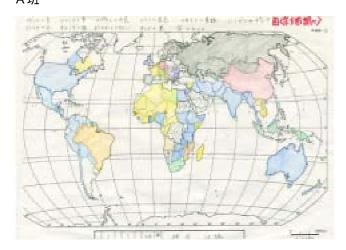
1時間

1 時間

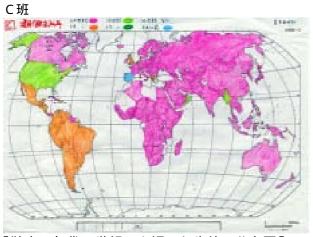
2 . 西アジア社会の変動 3 . インド・東南アジアの植民地化 4 . 東アジアの変動(アヘン戦争~日清戦争) 2 時間

【資料 1】

生徒が作成した統計地図



【植民地の宗主国を調べた生徒の分布図】



【独立の年代(世紀)を調べた生徒の分布図】

E班



【各国の主要な言語を調べた生徒の分布図】

B班



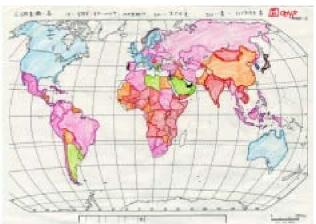
【植民地化の年代(世紀)を調べた生徒の分布図】

D班



【各国の主な宗教を調べた生徒の分布図】

F班



【各国の一人あたりのGNPを調べた生徒の分布図】